



←「次はどんなお話かな」とページをめくるたびに絵本の楽しさが広がる読み聞かせ。(11月16日やまゆり保育所)

親子で本を楽しむ

絵本の世界を楽しむ 子どもたちの素直な感情

3 歳になると、ストーリー性のある絵本も楽しめるようになります。物語の展開がある程度予測したり期待したりしながら聞けるようになり、楽しめる絵本の幅も大きく広がります。子どもたちは、絵本の世界の主人公になりきってドキドキ、ワクワクを体験したり、絵本の読み手と共感

しながら絵本を楽しみます。保育所や児童館などで読み聞かせを行っている読み聞かせグループ「つくしんぼ」の川原場さんは「お話に集中している子どもたちの目は、純粹でキラキラと輝いています。きっと絵本の世界の主人公に夢中だと思えます」と話します。また、生方さんも「絵本の世界を想像しやすくするために、一語一語はつきりと読んだり、ゆっくりと読み聞かせをしています」と話しています。

一生忘れられない 大切な思い出として

た くさん絵本を読んだあげることが大変ですが、乳幼児期は新しい絵本との出会いを子どもと一緒に楽しむことができる貴重な時期です。このころ読んでもらった絵本や読んでもらった時の幸福感は、一生忘れられない大切な思い出として残ります。どうぞ、親子でたっぷり絵本の世界を



↑4ヶ月児健診で行われているブックスタート。まだ字を読むことができない赤ちゃんも、絵をじっと見つめたり、指を差したり、読んでくれる人を見つめてその声に耳を澄ませたりと、赤ちゃんそれぞれの絵本の楽しみ方があるようです。(10月27日霞ヶ浦保健センター)



ブックスタートは「4ヶ月児健診」で行っています

ブックスタートは、保健センターで4ヶ月児健診のときに赤ちゃんとお母さんに、実際に読み聞かせをしたり、メッセージを伝えながら絵本を手渡ししています。赤ちゃんに絵本は、まだ早いかなと思うかもしれませんが、赤ちゃんでも本を見ながら優しく語りかけてもらったり、絵についておしゃべりしてもらったりする時間がとてもうれしいのです。

今後の日程(来年3月末まで)

霞ヶ浦保健センター ▶ 1月26日(土)・3月8日(土)

千代田保健センター ▶ 2月15日(土)

受付時間 13:00～

今年度、ブックスタートでお渡ししている絵本です!



ここよ ここよ

「どこに いるの?」の呼びかけにお母さんの陰に隠れていた赤ちゃんたちが顔を出します。繊細で緻密なタッチで描かれた動物の親子、幸せそうな表情が美しい絵本です。

親子で楽しむ 絵本の世界

子どもの健やかな成長に、絵本はとても大切です。子どもたちに絵本の魅力を伝え、親子の触れ合いのきっかけになるのが「ブックスタート」「読み聞かせ」です。

地域のぬくもりを届ける ブックスタートのひととき

赤 ちゃんの体の成長にミルクが必要なように、赤ちゃんの言葉と心ははぐくむためには、抱っこして優しく話しかけてあげることが大切だと言われています。赤ちゃんに向かい合うこうしたひとときは、大人にとっても心安らぐ楽しい時間になるでしょう。

「ブックスタート」は、赤ちゃんのまわりで楽しくあたたかいひとときが持たれることを

願い、一人ひとりの赤ちゃんに、絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本を手渡す活動で、市では保健センターで行われている4ヶ月児健診の機会にメッセージを伝えながら絵本を手渡ししています。「0歳の赤ちゃんでも絵本を楽しむことができるの?」と思うかもしれませんが、最初の絵本をめぐめるだけでも、親子のふれあいが楽しめます。一緒に絵本を開いて見ましょう。絵本は、絵のほけりした、繰り返し読める楽しい絵本から始めてみましょう。すべての赤ちゃんとお母さんの方に楽しい絵本の時間を届けたいと願っています。



→好奇心が芽生え、いろいろなことに興味いっぱい赤ちゃん。絵本の楽しさで好奇心を広げてあげましょう。



↑読み聞かせグループ「つくしんぼ」の皆さん。(左より時計回り)川原場好子さん、北原千恵子さん、立野純子さん、生方真一さん、川原場保さん

読み聞かせ会・お話し会

読み聞かせはボランティアグループが、図書館や児童館などで実施しています。読んでもらっている子どもだけでなく、読んで大人もとても楽しい時間を持つことができます。あなたも読み聞かせをしてみてください。

読み聞かせ会(つくしんぼ) (来年3月末日まで)

1月17日(土)・2月21日(土) 16:00 大塚児童館

2月7日(土)・3月6日(土) 16:00 稲吉児童館

2月14日(土)・3月13日(土) 16:00 新治児童館

☎千代田公民館 ☎0299-59-5252

お話し会(石のスープの会) (来年3月末日まで)

1月14日(土)・2月11日(土)・3月10日(土)

14:00 あじさい館図書館

☎図書館 ☎029-897-0647

ポイント① 予防接種を受けましょう!

予 防接種はインフルエンザの発病を減らし、万が一インフルエンザにかかった場合の重症化予防に有効だといわれています。特に、インフルエンザで症状が重くなりやすい人とその家族については予防接種をすることをお勧めします。インフルエンザの流行情報に注意し、定期受診している方や妊娠している方、持病のある方は医療機関と相談して接種してください。

ポイント② 手洗いを忘れずに!

多 くの人が集まる場所に出かけた後は手洗いを心がけましょう。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。家庭内にウイルスを持ち込まないように家族の決まりごととして手洗いを習慣づけましょう。



ポイント③ 「せき」や「くしゃみ」から離れましょう

せ きやくしゃみをしている人とは距離をとりましょう。もし、身近な人がせきやくしゃみをしているようであればマスクの着用を促したり、せきやくしゃみをする時にはハンカチやティッシュで口と鼻をふさぎ、顔をそむけてしてもらいましょう。もし、自分自身がせきやくしゃみが出る場合には「せきエチケット」で感染を広げない心配りを忘れずに。

ポイント④ 規則正しい生活を!

日 ごろから規則正しい食生活と睡眠リズムを。普段からの健康管理がとても重要で、栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておくこともインフルエンザを予防するには効果的です。



インフルエンザ 予防対策

イ ンフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約1千万人、約10人に1人が感染しています。インフルエンザにならないためには、まず、インフルエンザそのものをよく知る必要があります。感染しないための予防法や健康管理を身につけましょう。



1 インフルエンザと普通の風邪の違い

風 邪の多くは、鼻水やのどの痛みなど局所症状が多く、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはあまりありません。

イ ンフルエンザは、38℃以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛みや鼻水、せきなどの症状も見られます。お子さまではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を併発するなど重症になることがあります。

2 インフルエンザで症状が重くなりやすい人

① **65歳以上の方や65歳未満の方でも心臓や腎臓または呼吸器など、持病のある方**▶インフルエンザにかかりやすく、発症すると、肺炎を併発したり、重症化しやすいので注意が必要です。流行する年にはインフルエンザが原因で亡くなる人も増加します。

② **乳幼児**▶中耳炎や熱性けいれん、肺炎などを併発する場合があります。特にインフルエンザ脳症がとても深刻な問題となっています。インフルエンザ脳症の原因は不明ですが、インフルエンザウイルスの感染が発症の引き金となり、突然の高熱に始まり短期間の内に全身状態が悪化します。

③ **妊娠している方**▶インフルエンザにかかった場合、肺炎を併発したり、持病のある方同様に重症化しやすいので注意が必要です。

インフルエンザ予防 健康管理のポイント

私 たちの体は、もともと感染から自分を守る仕組みをもっています。この機能を低下させないために、毎日の健康管理によって、インフルエンザに負けない体を作っておくことが大切です。

- 栄養を十分にとり、バランスのよい食事を心がける。
- 十分な休養。
- 規則正しい生活と十分な睡眠を心がける。
- 適度な運動をして、体を鍛えましょう。
- 室内の温度や湿度を適度に保ち、ときどき換気をしてください。
- なるべく薄着して、温度環境に体を慣らしましょう。
- 体を冷やさないように注意しましょう。湯ざめに気をつけ、雨や汗などで衣服が濡れた場合は、すぐに乾いたものに替えましょう。
- 深酒やタバコをなるべく控えましょう。
- 可能であれば、インフルエンザにかかっている人と密接な接触をしないようにしましょう。

図書館

住所▶深谷 3719-1
電話番号▶☎ 029-897-0647
開館時間▶9:00 ~ 17:00
休館日▶毎週月、祝日(国の場合は開館、図が休館)、毎月末日(国土の場合、国が休館)、年末年始、特別整理期間
蔵書数▶92,719冊
(11月末現在)



↑④文学や歴史、芸術などの最新の本がそろった新刊本コーナー⑤幼児向けの絵本や紙芝居があるこどものひろば。毎月第2④「石のスープの会」が話し会を開催

図書館千代田分館



住所▶上佐谷 991-5
電話番号▶☎ 0299-59-5252
開館時間▶9:00 ~ 17:00
休館日▶毎週月、祝日(国の場合は開館、図が休館)、年末年始、特別整理期間
蔵書数▶30,021冊
(11月末現在)

↑千代田公民館内にある図書館千代田分館。入り口ホールに読書スペースがあり、読書を楽しむことができます。



↑お気に入りの本を見つけたり、友達と一緒に本を読んだり思い思いのスタイルで本を楽しむことができる図書館。ゆったりとした空間で読書の時間を楽しむことができます。

図書館がもっと身近にみえてくる

本が読みたくなる日... そんな日はありませんか? 豊富な情報や「知ること」の楽しさ、ステキな本との出会いが図書館にはあります。

図書館をご利用ください

図 書館の役割やサービス、楽しみ方など取り巻く状況が大きく変わりつつあります。これまでは、図書館を趣味や娯楽のための施設、本を無料で貸し出す場所、学生などが勉強するための空間として考えている人も少なくなく、それ以外の機能はあまり知られていませんでした。現在は、新刊図書を並べるだけでなく、利用者が見やすく探しやすいように丁寧に並べられた



↑OPAC(オンライン蔵書目録)。読みたい本を検索。予約も可能。

書架棚、季節や話題などの特集コーナー、本との出会いを演出する書架など利用者が最高の1冊と出会えるよう、さまざまな仕掛けや工夫をしています。

インターネット環境の進展と共に、図書館でもOPACを公開し、予約もネット上でできるようになりました。利用者ニーズにあう資料を、的確に提供し、あふれる「情報」の中で、利用者が、求める情報を活用する力をつけるための支援も図書館の重要な役割になってきます。

暮らしの中で、情報が持つ価値が高まるなか、利用者が求める情報を手に入れる手段として、図書館の果たす役割が見直されています。すべての利用者に、豊富な情報と「知ること」の楽しさを提供する図書館。暮らしの中の身近な場所になりつつあります。